

令和8年度（第1回）松山市景観審議会

議事資料

松山市の景観施策について（P1～12）

第15回まつやま景観賞について（P13～14）

令和8年5月7日（木）

松山市 開発建築部 市街地整備課

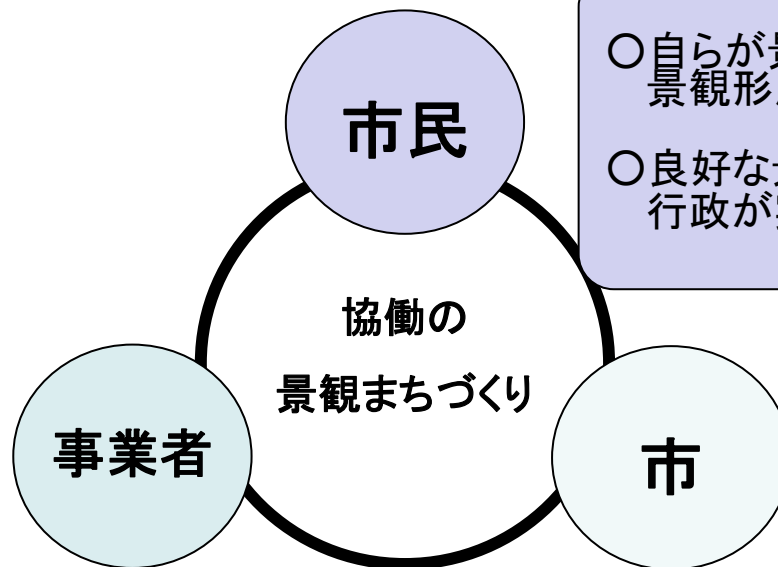
(1)
松山市の景観施策について

松山市の景観に関する流れ

| | | |
|--------|---|---|
| H8 | 松山市都市景観条例の制定 | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な建築行為等の届出制度の導入 ・都市景観賞の創設等の景観啓発活動 |
| H9 | 松山市都市景観形成基本計画の策定 | |
| H12 | 松山市屋外広告物条例の制定 | <ul style="list-style-type: none"> ・中核市移行に伴う条例制定 |
| H16~17 | <div style="display: inline-block; border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 景観法 </div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> 松山市景観検討協議会 (景観形成に関する調査・検討) </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・高層ビル建設を契機に、学識経験者等からなる協議会で、景観について検討 ⇒市民主体で景観形成・保全に取り組むべきとの答申 |
| H19~21 | ワークショップ・意見交換会等による検討 (のべ18回) | <ul style="list-style-type: none"> ・松山城の眺望に関するワークショップや意見交換会など、市民とともに景観計画を検討 |
| H22 | <div style="display: inline-block; border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 松山市景観計画の策定 松山市景観条例の制定 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・市役所前榎町通り・道後温泉本館周辺地区の景観ルール策定 ・松山市都市景観条例を景観法の委任条例として改正 |
| H27~ | 松山市景観計画の策定(追加) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内中心地区・三津浜地区を景観計画区域に指定 ・榎町通り・道後温泉本館周辺・二番町通り・ロープウェイ街・松山駅周辺・大手町通りを重点地区へ指定 ・眺望保全区域を指定 |
| R1~ | 松山城の眺望を含む都市景観のあり方の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・松山城の眺望を含む都市景観についてまちづくり方針の検討を開始 |

景観法と景観計画

- ・ 景観法は、平成16年に制定された「景観に関する総合的な法律」
- ・ 景観計画は、景観法に基づき策定する「良好な景観の形成に関する計画」
（区域や基準などを規定、一定規模以上の建築行為等は事前に届出が必要）
- ・ 松山市景観条例 第3条及び第4条
市民・事業者・市が協力して、良好な景観を形成することを規定

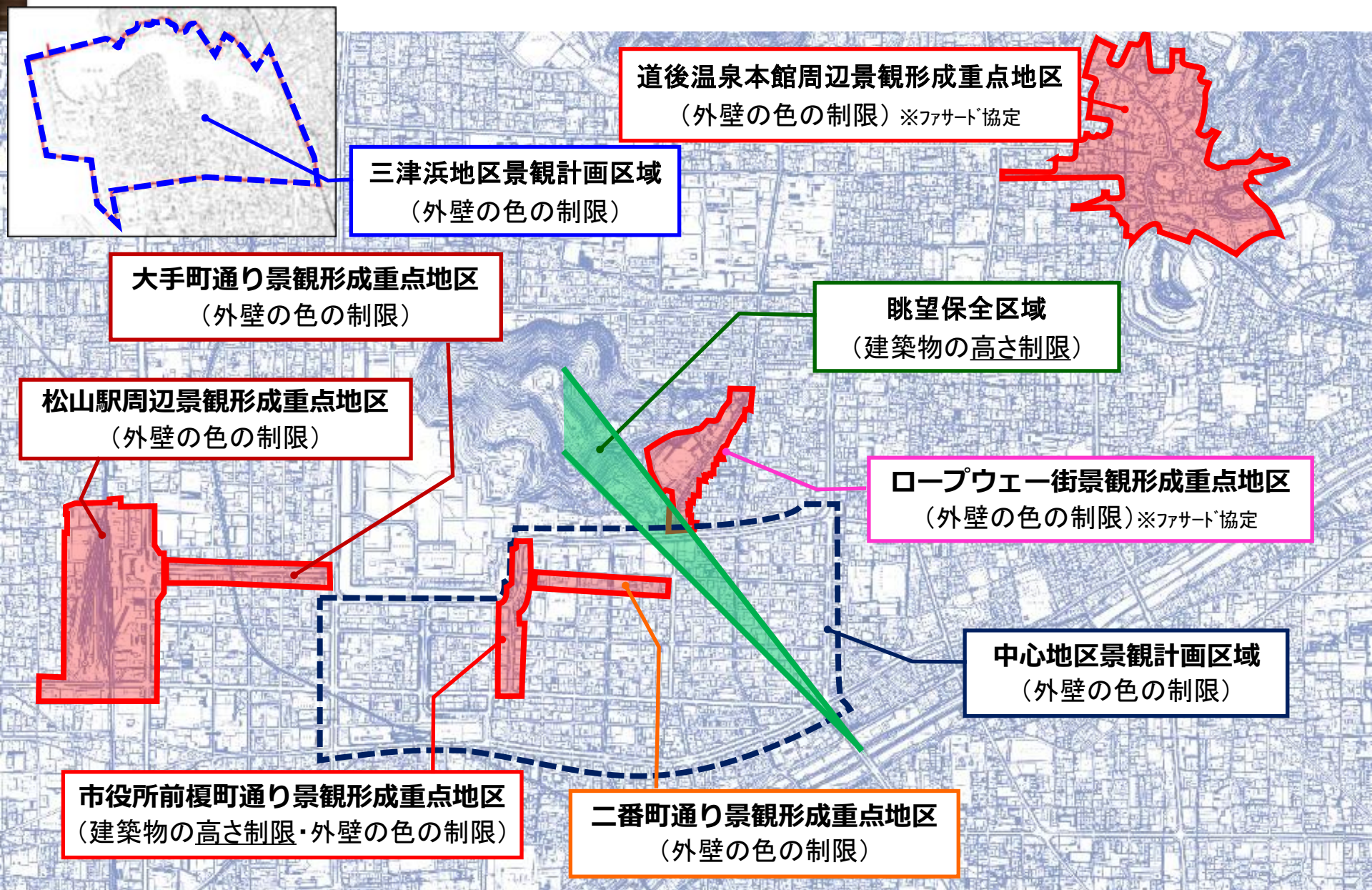


- 自らが景観形成の主体であることを認識し、景観形成に積極的に寄与するよう努める。
- 良好な景観形成に関する理解を深め、行政が実施する景観施策に協力する。

- 事業実施の際は、専門的知識や経験を活用し景観形成に積極的に寄与するよう努める。
- 自ら良好な景観形成に努めるとともに、行政が実施する景観施策に協力する。

- 良好な景観形成に関する施策を総合的かつ計画的に策定し実施する。
- 公共施設の整備を行うにあたっては、景観形成に先導的役割を果たす。

松山市景観計画の策定（松山城への眺望保全が目的の地区・区域が2つ）



【松山市景観審議会】議事実績

| 年度 | 開催日 | 議事 |
|-----|---------------------|--|
| R7 | (なし) | |
| R6 | (なし) | |
| R5 | 6/2/2 | 松山城の眺望を含む都市景観について(これまでの経緯と今後の取組) 第14回まつやま景観賞の実施について |
| R4 | (なし) | |
| R3 | 3/10/26 (対面・WEB) | 松山城の眺望を含む都市景観について(これまでの経緯と今後の取組) |
| R3 | 3/5/28 (WEB) | 松山城の眺望を含む都市景観について(方針策定案と啓発案) |
| R2 | 3/2/3 (書面) | 松山市景観計画(三津浜地区景観計画区域)案について(パブコメ実施後) 松山城の眺望を含む都市景観のあり方検討について(現状報告) |
| R2 | 2/6/30 | 三津浜地区景観計画(案)について 松山城の眺望を含む都市景観について(昨年度各種調査の結果報告) |
| R1 | 1/7/4 | 松山城の眺望を含む都市景観について(これまでの経緯と今後の取組) 三津浜地区景観計画(素案)の現状報告 第12回まつやま景観賞の実施について |
| H31 | 31/4/26 | 松山城の眺望を含む都市景観について (これまでの取組と現状、再開発の現状、これからの取組) |

【経緯】

○平成30年12月議会での「再開発に関する一部条例改正」の決議において、「市内中心部の大型建築物・構造物の建設における松山城の眺望を含む都市景観への配慮」について、附帯決議がされた。

○松山城への眺望景観に比べて、松山城からの眺望景観は取組が遅れている。お城そのものに並ぶ魅力があり、松山らしい景観として保全すべき重要度が高い。

⇒『松山城からの眺望景観の保全』の検討

○令和3年5月に開催した景観審議会で、具体的なイメージを市民と共有し、議論を深めていくためのたたき台として、「建築物等の高さが松山城築城の最低地盤面である127mを超えない」という考え方を、松山市景観計画に追記する案を提示した。

【頂いた主な意見】

○127mは少し高い印象がある。

一番高い建物が60mということから、127mとする根拠は薄いように思える。

○半径2kmの規制だが、他の所で高い建物が建つ可能性もあるのではないか。

○松山城からの眺望も方角によって保全すべき内容は違う。

○どこから見るか、眺める場所は落ち着いて佇めるかという視点や、市民目線だけでなく観光客目線も必要。

○一律に具体的な高さを提示すると誤解が生じる恐れがある。最低限の高さに触れる必要はあるが、市民レベルで分かる周知と個別審議の2段構えにできないか。



松山城を含む眺望景観について、
さらに具体的な制限を検討していきます。

松山城の眺望景観を尊重する意識醸成（取組を強化・推進）

景色が語り、城がささやく。
松山の物語を感じ・伝えてみませんか？

毎回変わる！
オリジナル
松山城グッズ
プレゼント

つなぐ時間。

松山城眺望 景観めぐり

参加費
無料

松山城の眺望景観についてお話を聞いた後、
実際に眺める場所をめくります。

| 2025.12.6 | 2025.12.7 | 2025.12.13 |
|--|---|---|
| <p>お城下から 見上げる 松山城ビュー</p> <p>時間 9:00～12:00 ぐんじょう ひろみ 講師 郡司島宏美氏 愛媛大学大学院 理工学研究科准教授</p> | <p>松山城から 眺める パノラマ</p> <p>時間 9:00～12:00 ぐんじょう ひろみ 講師 郡司島宏美氏 愛媛大学大学院 理工学研究科准教授</p> | <p>伝える視点 松山城と まちの眺望</p> <p>時間 9:00～12:00 いせやち よしみ 講師 池口知美氏 ㈱APOLLO カメラマン</p> |

全日、
散策があるので
動きやすい
服装で
おこしください。

対象 市内在住もしくは市内に通勤・通学している方

定員 各回25名（応募多数の場合は抽選、複数日の参加も可）

集合 松山城ローブウェイ東雲口駅舎内2階会議室
（松山市大街道3丁目2-46）
※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

応募締切 2025.11.15

応募方法は裏面をチェック →

主催 松山市 お問い合わせ 株式会社イーエーシー「松山城眺望景観めぐり」係 TEL 089-905-1720(平日 9:30～17:00)

松山城と暮らすまちづくり

松山城 眺望景観 MAP



1回目 お城下から見上げる松山城ビュー



○道後公園展望台

道後公園の展望台から、松山城や市街地を見渡しました。
天気も良く、遠景まではっきりと見渡すことができ、まちなみとともに松山城を楽しみました。



○市役所前榎町通り

景観形成重点地区の市役所前榎町通りから、松山城を眺めました。
松山城と愛媛県庁がきれいに見える、この時期だけの貴重な眺めを堪能しました。

2回目 松山城から眺めるパノラマ



○本丸広場

馬具櫓の南側から、市街地を眺めました。遠くの山や海まで見晴らすことができました。また、松山城に登りながら、高さや角度による景色の違いを体験しました。



○天守閣

天守閣から市街地を眺めました。参加者から一番人気があった眺望スポットで、松山城から見る景色を楽しみながら、眺望景観について考えていただきました。

3回目 伝える視点 松山城とまちの眺望



○伊佐爾波神社

伊佐爾波神社の階段の上から、松山城を眺めました。伊佐爾波神社の社殿と、振り返ったときに見える松山城の景色を楽しみました。



○本丸広場

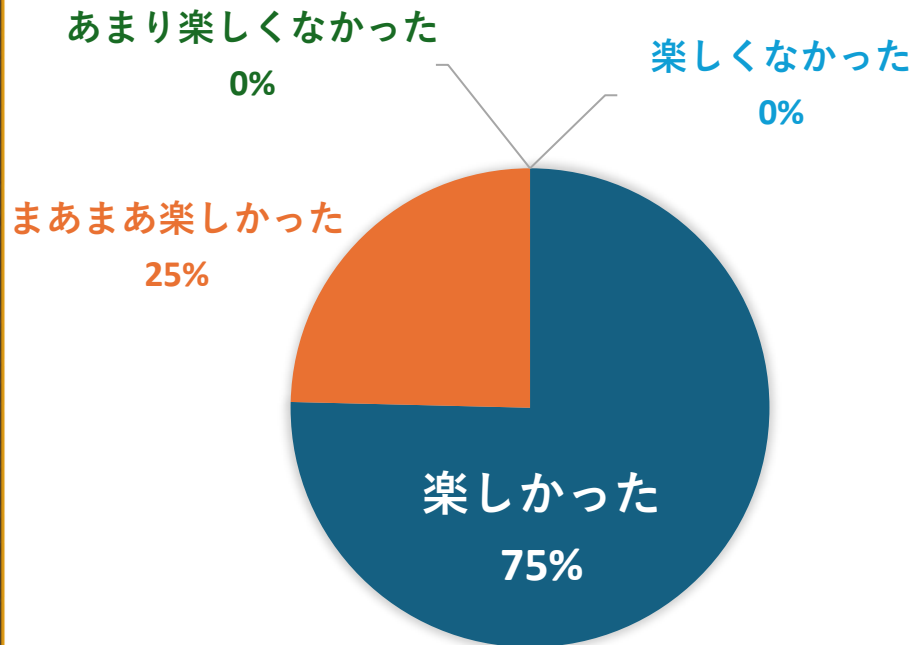
プロカメラマンの池口知美氏から、写真の撮り方を教えていただきながら、眺望景観をより魅力的に伝えていくことについて、伝える側の視点に立ち、考えていただきました。

松山城の眺望景観を尊重する意識醸成（取組を強化・推進）

アンケート結果（イベント後実施）

参加者66名にアンケートを実施

満足度



楽しかった・まあまあ楽しかった

100%

多くの参加者からご好評をいただきました

感想・意見

「このステキな景観を守っていかねければならないと思った。」

「景観の眺望を考えるきっかけになった。」

「やっぱり松山城っていいな。ほっこりする。」

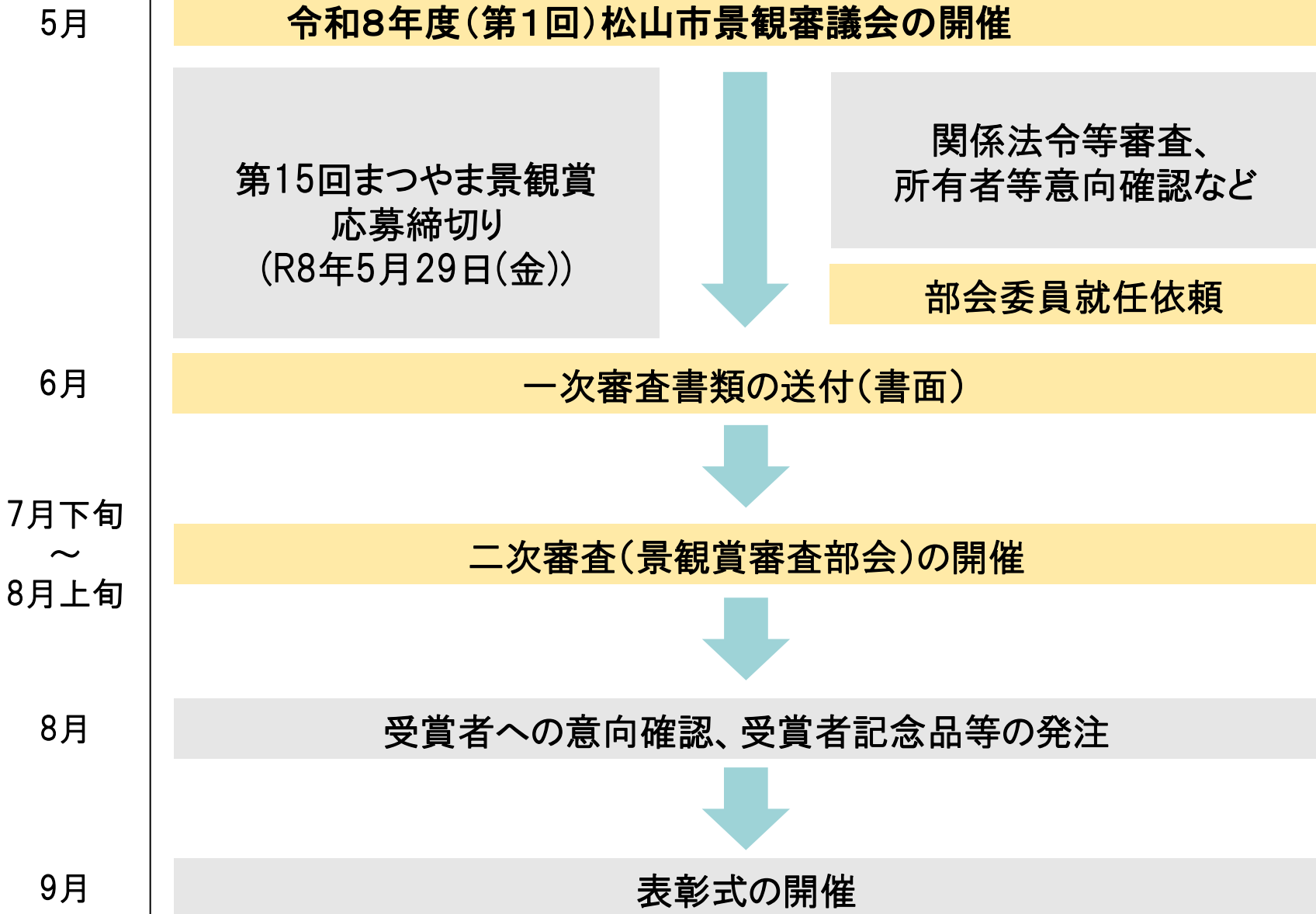
などの声をいただきました。

今後も、景観の保全に対する意識醸成に繋がるよう、取り組んでいきます。

(3)

第15回まつやま景観賞

今後のスケジュール(予定)



終わり